

お耳の中に私の触手を入れられ

私の触手が貴方のお耳から頭の中に入つて：体中が快楽で満たされる感覺

現実で生きている限り決して味わう」との無い・最高の快感を貴方にあげる。

卷之二

じゃ／＼あ…うふふつ…早速しましよつかあ…んつ…

九月三十日

あらあら……怖がらないで良いのよ？

貴方の濃い精気を貰つてえ：私も今まで以上に魔力を使うことが出来そ

簡単なお話よ

110

一八

卷之三

卷之三

んつ……あらあらあ……そんなに体をびくびくさせて、まだ入り口をしてるだけなのに

ほおら、どんづどん中へと入つていくわよ。分かるかしら？

29
C...
C...

32

卷之三

いいのよ、おかしくなつて。貴方の心も体もお……とろつとろにい溶かしてあげる♪

73 は～い、 め～として…あ・げ・る…♪

74

75 あ～あ～…あはあん～…はあ～…す～！」お～…素敵～…♪
76 リ～)が気持ちいいのねえ…ん～…はあ～…ああん～…じやあ…リ～ば～かりしたか…
77 またすぐイっちゃうかしら?

78

79 うふふ…我慢なんてしないでいいの…ん～…はあ～…あは～…
80 ね? イつちやつてえ? あ～あ～あ～…はあん～…♪

81 ああん～…いいわ貴方の精液…と～～でも大好きよお…ん～…ふあ～…んんん～…♪

82

83

84 うふふ…あ～しあしょ…」んなの私ガマン出来なくな～できもいや～わあ…

85 も～～とお欲しくな～ちやう…ん～…あは～…リ～はあ…じう～。

86 あん～…あ～あ～…す～！」お～…と～～でも気持ちよさやうな顔してぬう…はあん～…

87 これは我慢汁? それとも本気汁なお?

88 うふふ…シルクドショ～～ていやらしいお汁垂れ流しておチンポ幸せそうにしてねわ

89 ねえ♪

90

91 あは～…貴方の事大好きにな～ちやいそ～…あん～…んん～…え? ジ～したのかし

92 ひ?

93 あは～…またイつちやいそ～なねえ…あん～…

94 あは～…まだイつちやいそ～なねえ…あん～…

95 あは～…あん～…長いのよ出しちゃえ? リのまま私たちに濃いザーメン…た～～ぱり…

96 ん～…あん～…長いのよ出しちゃえ? リのまま私たちに濃いザーメン…た～～ぱり…

97 かけ・てえ♪

98 ああん～…じや～～～あ… いくわよお…イつちやいなやあい?

99 『はあ～～～～～～～～～…イつて…ちようだ～～～～～～～～～…♪』

100

101 あはあん～…♪ いいわ貴方あ…ほん～とうに素敵よ…

102 あ～あ～…出でるう…私の大好きな精液…た～くさん出ちや～ぐ～…あん～…ん～…

103 サキュバスの夢の中とは言え…出る精液の量は貴方の精気の強さに比例するから…

104 こんなのは初めてで…ん～…うふふ…私興奮しちゃってるわ…あは～…

105 わいぶ…わいともいとも～～とお…私たちに貴方の精液…

106

107 108 『玉～～～～～～～～』

あつ…あつ…ほおらあ…我慢なんてしないでいいのよお?

110
111
触手の感触…私のあまい声…全部ぜくくんぶ…貴方だけのモノなのだから…

112

あはっ……ん？激しくされるの好きでしよう？

115

116

117

118 あつあつうふふつ 可愛い反応

119

120

二十一

【22】
私が我慢出来なくなつてしまいそう…ごめんなさいねえ…♪

C27

七

九〇一
三〇七

一九七

120
THE JOURNAL OF CLIMATE

130
ル
ツ
イ
？
イ
ツ
う
や
う
り
？
カ
ハ
レ
タ
シ
イ
、
所
見
た
て
う
よ
う
ざ
あ
レ

131

あはい…田舎…田舎…今田一番の濃いザーメン…だしてえへ

133

ほらあ...行くわよお、せののお♪

135

『はあ～～～～～い…いつちやいなさあ～～～～～い』

131

ああああんぐはあんんすうこうかい

精液……てくらう……てくらう……てくらう……和の大女きだ。貴方の精液い……こし、アママムシ。

卷之三

142

144

44

- まだ出る? しないのお? だめえ…もひとだへして…あん?…んん?…か?」お
い…
- 「…」
- はあ?…はあ?…やう?…」うだつたわあ…あん?…はあ?…つみみ?…ううあえず…
おーしがこへ
- あは?…沢山の精氣ありがとう♪ わゆり
で~も…おだ…もつちよつとイケる? ふふ?…
- 喜んだ?…貴方の?」が枯れ果てるおで…」奉仕せよかね?…つみみ?…
今度はおチンポより感じる様になつてゐお耳を…更に…ぐ~ぐ~およぐよにして
あ・げ・ぬ…つみみ?…